

2018年7月～9月（平成30年） 暗唱聖句 第三期 「使徒言行録」 口語訳

<p>第一課 七月七日 「聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」 使徒行伝 一ノ八 口語訳</p>	<p>第二課 七月一四日 「このイエスを、神はよみがえらせた。そして、わたしたちは皆その証人なのである。それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。このことは、あなたがたが現に見聞きしているとおりでである」 使徒行伝 二ノ三三、三三三 口語訳</p>	<p>第三課 七月二二日 「そして日々心一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころをもつて、食事を共にし、神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである」 使徒行伝 二ノ四六、四七 口語訳</p>	<p>第四課 七月二八日 「こうして神の言（ことば）は、ますますひろまり、エルサレムにおける弟子の数が、非常にふえていき、祭司たちも多数信仰を受けられるようになった」 使徒行伝 六ノ七 口語訳</p>	<p>第五課 八月四日 「さあ、行きなさい。あの人は、異邦人たち、王たち、またイスラエルの子らにも、わたしの名を伝える器として、わたしが選んだ者である」 使徒行伝 九ノ一五 口語訳</p>	<p>第六課 八月一日 「そこで、ペテロは口を開いて言った、『神は人をかたよりみないかたで、神を敬い義を行う者はどの国民でも受け入れて下さることが、ほんとうによくわかってきました』」 使徒行伝 一〇ノ三四、三五 口語訳</p>	<p>第七課 八月一八日 「だから、兄弟たちよ、この事を承知しておくがよい。すなわち、このイエスによる罪のゆるしの福音が、今やあなたがたに宣べ伝えられている。そして、モーセの律法では義とされることができなかつたすべての事についても、信じる者はもれなく、イエスによって義とされるのである」 使徒行伝 一三ノ三八、三九 口語訳</p>
<p>第八課 八月二五日 「確かに、主イエスのめぐみによって、われわれは救われるのだと信じるが、彼らとても同様である」 使徒行伝 一五ノ一一 口語訳</p>	<p>第九課 九月一日 「恐れるな。語りつづけよ、黙っているな。あなたには、わたしがついていられる。だれもあなたを襲って、危害を加えるようなことはない。この町には、わたしの民が大ぜいいる」 使徒行伝 一八ノ九、一〇 口語訳</p>	<p>第一〇課 九月八日 「しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかしする任務を果し得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない」 使徒行伝 二〇ノ二四 口語訳</p>	<p>第一課 九月一五日 「その夜、主がパウロに臨んで言われた、『しっかりせよ。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしないでほならない』」 使徒行伝 一三ノ一一 口語訳</p>	<p>第二課 九月二二日 「説くことが少しであろうと、多くであろうと、わたしが神に祈るのは、ただあなただけでなく、きょう、わたしの言葉を聞いた人もみな、わたしのようになつて下さることです。このような鎖は別ですが」 使徒行伝 二六ノ二九 口語訳</p>	<p>第三課 九月二九日 「パウロよ、恐れるな。あなたは必ずカイザルの前に立たなければならぬ。しかしに神は、あなたと同船の者を、ことごとくあなたに賜わっている」 使徒行伝 二七ノ二四 口語訳</p>	